

ニッセイ インターネットアンケート ～「2020年の振り返りと新年への期待」について～

日本生命保険相互会社（社長：清水博）は、「ずっともっとサービス」のサンクスマイルメニューの一つとして、ホームページ (<https://www.nissay.co.jp>) 内の「ご契約者さま専用サービス」にて、「2020年の振り返りと新年への期待」に関するアンケート調査を実施いたしました。

《アンケート概要》

- 実施期間：2020年12月1日(火)～12月10日(木)
- 実施方法：インターネットアンケート(「ずっともっとサービス」のサンクスマイルメニュー)
- 回答者数：6,220名(男性：3,293名、女性：2,927名)

＜年代別回答者数＞

[名]

年代							合計
	～20代	30代	40代	50代	60代	70代～	
男性	189	397	704	1,082	627	294	3,293
女性	198	457	559	870	554	289	2,927
合計	387	854	1,263	1,952	1,181	583	6,220
占率	6.2%	13.7%	20.3%	31.4%	19.0%	9.4%	100.0%

《アンケート結果のポイント》

ポイント①

質問 1～9

【2020年の振り返りと新年への期待について】

- 今年印象に残った出来事について、「**新型コロナウイルス感染症の感染拡大・それに伴う影響**」と回答した方が全体の**95.7%**となり、最も多かった。
- 新型コロナウイルス感染症に伴う影響について特に印象に残っていることは、「**東京 2020 オリンピック・パラリンピックの延期**」が**66.8%**となり最も多かった。
- 新型コロナウイルス感染症に打ち克つ時期については、**約 7 割の方が「2 年以内」と回答した。**
- 来年の抱負については、全世代で「**健康に過ごすこと**」が**最多**となった。

ポイント②

質問 10～13

【年末年始休暇について】

- 年末年始休暇の予定は「**自宅・自宅周辺で過ごす**」と回答した方が**72.6%**となり最も多く、次いで「**見通しが立っていない**」となった。
- 見通しが立っていない理由は「**新型コロナウイルス感染症の収束の見通しが立っていないため**」が**67.4%**となり最も多かった。
- 平均予算は**約 4.1 万円**となり、昨年の**約 6.4 万円**に比べ**約 2.3 万円減少**した。

ポイント③

質問 14～16

【冬のボーナスについて】

- 平均支給額は**約 57.2 万円**となった。(昨年比**▲約 5.1 万円**)
- 昨年と比べて支給額が「**減った**」と回答した方は**約 3 割**であった。
- 支給額が「**減った**」と回答した方の割合が最も多い業種は「**宿泊業・飲食サービス業**」で**53.3%**となった。

【2020年の振り返りと新年への期待について】

- 質問1 今年印象に残っている出来事はなんですか？（回答者数：6,220名）※複数回答可
 質問2 新型コロナウイルス感染症に伴う影響について、特に印象に残っていることはなんですか？（回答者数：6,220名）※複数回答可
 質問3 新型コロナウイルス感染症に打ち克てる理由はなんだと思いますか？（回答者数：6,220名）
 質問4 新型コロナウイルス感染症に打ち克つ時期はいつ頃になると思いますか？（回答者数：6,220名）
 質問5 新型コロナウイルス感染症に打ち克ったら何をしたいですか？（回答者数：6,220名）※複数回答可

- 今年印象に残った出来事について、「新型コロナウイルス感染症の感染拡大・それに伴う影響」と回答した方が全体の95.7%となり、最も多かった。
 ○新型コロナウイルス感染症に伴う影響について特に印象に残っていることは、「東京2020オリンピック・パラリンピックの延期」が66.8%で最多で、次いで「緊急事態宣言の発令」となった。
 ○新型コロナウイルス感染症に打ち克つ時期については、約7割の方が「2年以内」と回答した。
 ○打ち克てる理由については「ワクチン・治療薬が開発されるから」が約8割で最多となった。
 ○新型コロナウイルス感染症に打ち克ったらやりたいことは、「国内旅行」が最多で27.9%、次いで「海外旅行」「外食や宴会」となった。

■今年印象に残っている出来事（複数回答可）

(%)

順位	出来事	全体						
		~20代	30代	40代	50代	60代	70代~	
1位	新型コロナウイルス感染症の感染拡大・それに伴う影響	95.7	94.3	94.9	96.2	96.3	96.2	94.2
2位	米国大統領選挙	27.1	17.0	23.2	24.8	27.2	36.7	24.3
3位	菅内閣発足	18.1	10.0	18.0	16.9	18.6	22.2	15.8
4位	令和2年7月豪雨（豪雨等による自然災害）	7.7	3.6	7.5	6.4	7.5	10.4	7.8
5位	東京証券取引所のシステム障害（初の売買終日停止）	6.4	5.1	7.9	6.4	6.1	7.0	5.3

全世代で9割以上の方が「新型コロナウイルス感染症の感染拡大・それに伴う影響」と回答
 次いで「米国大統領選挙」「菅内閣発足」となった

■新型コロナウイルス感染症に伴う影響について特に印象に残っていること（複数回答可）

(%)

順位	影響	全体						
		~20代	30代	40代	50代	60代	70代~	
1位	東京2020オリンピック・パラリンピックの延期	66.8	60.7	67.9	67.3	66.1	67.2	69.7
2位	緊急事態宣言の発令	42.6	38.8	47.5	43.6	45.2	41.9	29.2
3位	「新しい生活様式」の浸透（3密回避、マスク着用等）	30.2	22.1	26.3	29.6	33.3	34.7	22.8
4位	特別定額給付金の給付	27.1	21.3	31.2	26.6	26.5	29.5	22.7
5位	その他各種イベントの中止・延期	24.7	23.4	26.4	25.1	25.8	25.5	17.0

約7割の方が「東京2020オリンピック・パラリンピックの延期」と回答し、全世代において最多となった
 また、20代・70代はその他の項目への関心が比較的低かった

■新型コロナウイルス感染症に打ち克てる理由

(%)

順位		占率
1位	ワクチン・治療薬が開発されるから	78.0
2位	ウィズコロナ生活に適應できるから	13.6
3位	その他	4.5

「ワクチン・治療薬が開発されるから」
と回答した方が約 8 割

■新型コロナウイルス感染症に打ち克つ時期

(%)

	占率
1年以内	44.4
2年以内	24.1
3年以内	13.5
4年以内	1.5
5年以上先	6.0
打ち克つことはない	9.4

「2年以内」という回答が約 7 割

■新型コロナウイルス感染症に打ち克ったら何をしたいか（複数回答可）

(%)

順位		全体						
		~20代	30代	40代	50代	60代	70代~	
1位	国内旅行（宿泊あり）	27.9	28.3	27.3	26.9	26.4	29.4	33.0
2位	海外旅行	18.1	19.8	17.9	16.9	18.3	18.7	17.7
3位	外食や宴会	15.2	11.8	13.8	15.1	16.6	15.7	13.8

全世代で「国内旅行」が最も多く、次いで「海外旅行」「外食や宴会」となった

<ニッセイ基礎研究所 チーフエコノミスト 矢嶋 やすひで 康次のコメント>



2020年の印象に残っている出来事では、ほとんどの方が新型コロナウイルス感染症と回答しています。新型コロナウイルス感染症により社会は瞬間的に変化を余儀なくされ、経済の停滞だけでなく、当たり前であった日々の生活にも我慢を強いられるようになりました。

一方で、新型コロナウイルス感染症に打ち克つ時期は、1年以内との前向きな回答が一番多いです。現状では感染が再拡大しているものの、各国のワクチン開発に一定の成果が出始めていることに対する期待が込められているのではないのでしょうか。

質問 6 来年の関心事はなんですか？（回答者数：6,220名）

質問 7 来年の景気はどうなると思いますか？（回答者数：6,220名）

質問 8 来年はあなたにとって良い年になりそうですか？（回答者数：6,220名）

質問 9 来年の抱負はなんですか？（回答者数：6,220名）

- 来年の関心事について、「新型コロナウイルス感染症関連」と回答した方が 64.0%で最も多く、次いで「東京 2020 オリンピック・パラリンピックの開催」が 25.3%となった。
- 来年の景気について、「悪くなる」と回答した方が 36.9%となった。
- 一方、「自分にとって良い年になりそうですか」については、全世代で「はい」が「いいえ」を上回り、若い世代ほど「はい」と回答した方の割合が高かった。
- 来年の抱負は、全世代で「健康に過ごすこと」が最多となり、年代が高いほどその割合が高かった。

■来年の関心事

(%)

順位		全体						
		~20代	30代	40代	50代	60代	70代~	
1位	新型コロナウイルス感染症関連（ワクチンの開発等）	64.0	57.9	62.9	63.0	65.9	66.2	60.8
2位	東京2020オリンピック・パラリンピックの開催	25.3	27.7	24.4	25.4	25.4	24.2	26.7
3位	その他	10.9	13.6	13.3	11.9	9.1	9.5	12.0

全世代で半数以上の方が「新型コロナウイルス感染症関連」と回答
次いで「東京 2020 オリンピック・パラリンピックの開催」となった

■来年の景気

(%)

	今年
良くなる	15.2
悪くなる	36.9
変わらない	47.9

(%)

	昨年
良くなる	32.7
悪くなる	14.1
変わらない	53.3

「悪くなる」と回答した方が
「良くなる」と回答した方を 21.7 ポイント上回った
また、「悪くなる」と回答した方の割合は昨年を上回った

■来年はあなたにとって良い年になりそうか

(%)

	全体						
	~20代	30代	40代	50代	60代	70代~	
はい	30.3	43.7	38.5	33.4	27.2	23.5	27.3
いいえ	10.8	9.0	9.4	11.4	11.3	10.9	11.0
どちらとも言えない	58.8	47.3	52.1	55.2	61.5	65.5	61.7

全世代で「はい」が「いいえ」を上回り、特に若い世代で「はい」と回答した方の割合が高かった

■来年の抱負

(%)

順位		全体						
		~20代	30代	40代	50代	60代	70代~	
1位	健康に過ごすこと	62.5	40.6	48.2	55.3	65.4	73.1	81.0
2位	家族・友人との時間を増やすこと	5.2	7.5	6.4	4.6	5.1	5.0	4.2
3位	趣味の時間を増やすこと	5.0	4.9	3.5	5.0	4.9	7.0	3.3
4位	仕事を頑張ること	4.9	10.0	7.0	7.1	4.2	2.9	0.5
5位	ダイエットに成功すること	4.6	4.6	8.3	6.3	4.0	2.4	1.8

全世代で「健康に過ごすこと」が最多となり、年代が高いほどその割合が高かった
また、若い世代ほど「仕事を頑張ること」と回答した方の割合が高かった

<ニッセイ基礎研究所 チーフエコノミスト 矢嶋 やすひで 康次のコメント>

2021年の関心事では引き続き新型コロナウイルス感染症関連との回答が多くなっています。
また、来年の景気は悪くなるとの回答が良くなるとの回答を上回っていますが、自身にとっては良い年になるとの回答が、悪い年になるとの回答を上回っています。来年も新型コロナウイルス感染症の影響は続くものの、おうち時間が増えるなか、デジタルサービスなどを利用した新しいライフスタイルをそれぞれが工夫することで、生活満足度をあげているのではないのでしょうか。

【年末年始休暇について】

- 質問 10 今年の年末年始休暇は何をして過ごす予定ですか？（回答者数：6,220名）※複数回答可
 質問 11 <質問 10 で「見通しが立っていない」を選択した方への質問>
 見通しが立っていない理由は何ですか？（回答者数：1,601名）
 質問 12 昨年の年末年始休暇は何をして過ごしましたか？（回答者数：6,220名）※複数回答可
 質問 13 今年の年末年始休暇の予算はいくらですか？（回答者数：6,220名）

○年末年始休暇の予定は「自宅・自宅周辺で過ごす」方が 72.6%となり最も多く、次いで「見通しが立っていない」となった。「帰省」「国内旅行」「近場のレジャー」はそれぞれ減少した。
 ○見通しが立っていない理由は「新型コロナウイルス感染症の収束の見通しが立っていないため」が 67.4%となり最も多かった。
 ○年末年始休暇の平均予算は約 4.1 万円となり、昨年の約 6.4 万円に比べ約 2.3 万円減少した。

■今年の年末年始休暇は何をして過ごす予定か（複数回答可）

順位	今年 (%)		昨年 (%)	
	内容	占率	内容	占率
1位	自宅・自宅周辺で過ごす	72.6	自宅・自宅周辺で過ごす	63.3
2位	見通しが立っていない	11.5	帰省	18.3
3位	帰省	7.1	国内旅行（宿泊あり）	9.5
4位	その他	6.4	近場のレジャー（日帰り）	7.6
5位	国内旅行（宿泊あり）	4.5	その他	7.2

約 7 割が「自宅・自宅周辺で過ごす」と回答し、約 1 割が「見通しが立っていない」と回答
 「帰省」「国内旅行」「近場のレジャー」はそれぞれ減少した

■「見通しが立っていない」理由

順位	理由	占率 (%)
1位	新型コロナウイルス感染症の収束の見通しが立っていないため	67.4
2位	その他	15.4
3位	金銭的な余裕がないため	8.7

約 7 割が「新型コロナウイルス感染症の収束の見通しが立っていないため」と回答

■年末年始休暇予算の昨年比

今年	昨年	昨年比 (万円)
4.1	6.4	▲2.3

予算は昨年比で約 2.3 万円減少

<ニッセイ基礎研究所 チーフエコノミスト 矢嶋 やすひで 康次のコメント>

年末年始の過ごし方は自宅・自宅周辺で過ごす、見通しが立っていないとの回答が多く、帰省や国内旅行の回答が昨年と比べて大きく減少しています。現状では新型コロナウイルス感染症の感染者数が増加し、年内の収束が見通せないなか、警戒が続いているようです。また、12月14日には、政府から年末年始における GoTo トラベルの一時停止が発表されました。帰省や国内旅行をする方はさらに少なくなる可能性があります。

【冬のボーナスについて】

質問 14～16 について<無職、専業主婦（主夫）、自営業、公務員、パート・アルバイト、学生除き>で集計

質問 14 冬のボーナスの支給額はいくらでしたか？（回答者数：3,299名）

質問 15 支給額は昨年と比べて増えましたか？減りましたか？（回答者数：3,299名）

質問 16 <質問 15 で「増えた」または「減った」を選択した方への質問>
増減額はいくらでしたか？（回答者数：1,311名）

- 冬のボーナスの平均支給額は約 57.2 万円となった。（昨年比▲約 5.1 万円）
- 昨年と比べて支給額が「減った」と回答した方は約 3 割であった。
- 支給額が「減った」と回答した方の割合が最も多い業種は「宿泊業・飲食サービス業」で 53.3% となった。

■冬のボーナスの平均支給額

	今年 (万円)			昨年 (万円)		
		男性	女性		男性	女性
～20代	32.4	36.7	27.4	32.9	38.1	26.9
30代	46.2	52.9	37.4	49.1	56.2	39.9
40代	56.8	63.0	43.1	61.4	69.0	44.8
50代	70.6	82.1	40.0	77.0	89.7	43.5
60代	52.4	58.2	32.0	63.9	71.5	37.2
70代～	56.4	90.0	16.0	37.0	58.1	11.8
全体	57.2	66.7	37.8	62.3	73.1	40.2

■支給額の昨年比

	占率 (%)
増えた	8.4
減った	32.9
変わらない	58.7

「減った」方が
約 3 割

昨年の支給額から約 5.1 万円下落

■支給額が「減った」と回答した方（業種別）

順位	2020年冬季 (%)		2020年夏季 (%)	
	業種	占率	業種	占率
1位	宿泊業・飲食サービス業	53.3	製造業	42.2
2位	複合サービス事業	42.4	生活関連サービス業、娯楽業	40.0
3位	製造業	42.1	金融業、保険業	34.4

「減った」と回答した方の割合は「宿泊業・飲食サービス業」が最多

<ニッセイ基礎研究所 チーフエコノミスト 矢嶋 康次のコメント>

冬のボーナスの平均支給額は、昨年と比べて大きく減少しています。新型コロナウイルス感染症により業績が悪化している企業が多いことが背景にあります。特に、新型コロナウイルス感染症の影響が大きい宿泊業・飲食サービス業で減少したと回答した方が多い結果となっています。

景気自体は既に底打ちを見せていますが、2020 年度入り後の企業収益の急速な悪化は、来年度のボーナスにも影響を与えるため、ボーナスの増加には時間がかかりそうです。

以上

2020-1639G, 広報部